

特集 救急車を正しく利用しましょう ～9月9日は救急の日～

一人でも多くの命を救えるように。救急車の適正利用を

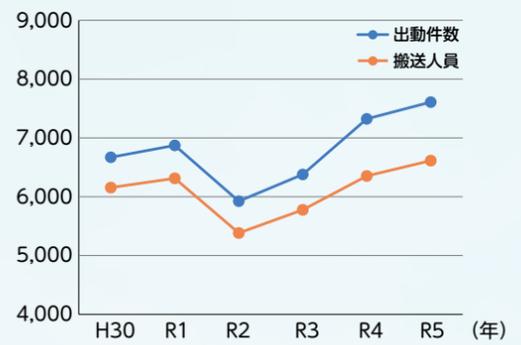


救急隊員に最近の救急業務・医療について、お話を聞きました。

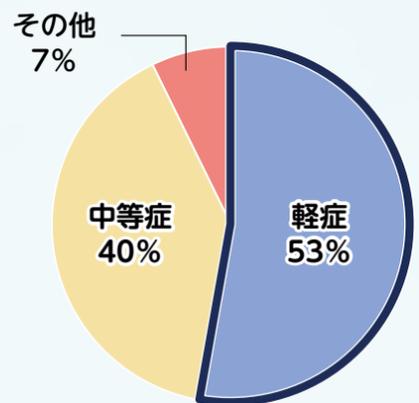
- Q 最近の救急車の出動件数について、教えてください。
- A 全国的に救急車の出動は増加しており、市でも年々増加しています。令和5年の救急出動件数は7,609件、搬送人員は6,614人となっており、平成30年と比べ、大きく増加しています。
- Q 救急車を要請する方の傷病状況はどのようになっていますか。
- A 令和5年傷病程度別搬送割合は軽症が53パーセント、中等症が40パーセントとケガの程度が軽い搬送者が多くなっています。



救急出動件数および搬送人員



令和5年傷病程度別搬送割合



救急隊員の小澤さん

- Q 市民の方にお伝えしたいことはありますか。
- A 救急要請が増加し、近くの救急車が全て出動中となれば、遠くから救急隊が出動することになるため、救急車の到着時間が遅れてしまい、救える命が救えなくなる恐れがあります。緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関などを利用してください。傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行ったほうが良いと思ったときには、迷わず119番通報をしてください。救急車を本当に必要とする人のために、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

予防救急への理解を深めましょう

救急車で搬送された事例の中には、「ほんの少しの注意」や「事前の対策」で救急車を要請せず、未然に防げたかもしれない事故が多くあります。事故の原因や注意点、予防のポイントを知り、救急搬送につながるケガや病気を未然に防ぐ取り組みを「予防救急」といいます。詳しくは市ホームページ(右記2次元コードからアクセス可)をご覧ください。



市ホームページ

起りやすい事故とその予防

事故の防止には、家族や周りの人の協力がとても重要です。事故の原因を知って、対策をしましょう。

転倒(段差、玄関など)

- 段差につまずかないよう、気を付けましょう
- 転倒を防ぐために整理整頓を心掛けましょう
- 階段・玄関・浴室などの滑り止め対策をしましょう



転落(階段、ベッド、脚立など)

- 階段などには手すりを設置しましょう
- ベッドなどにも転落防止の柵をつけましょう
- 脚立などを使用した作業の際は、補助者に支えてもらいましょう



窒息(食べ物(餅や肉など)、薬の包装など)

- 食べ物は細かく調理し、食べるときはゆっくり噛み、窒息を予防しましょう
- 水・お茶などの水分をとりながら、食事をしましょう
- 食事をしている人に急に話しかけて、喉に食べ物を詰まらせないように注意しましょう



衝突(家具、人、柱、ドアなど)

- 慌てず、周りをよく見て行動しましょう
- 通路などに物を置かないようにしましょう
- 暗いところには十分な明るさを確保しましょう(照明・懐中電灯など)



普通救命講習 | (座間綾瀬医師会共催)

日時 9月19日(木)13:30~16:30 (13:15受付開始)
 場所 消防本部4階救急講習室
 内容 応急手当の重要性、胸骨圧迫、自動体外式除細動器(AED)の使用、大出血時の止血法習得
 ※人工呼吸の実技は展示および動画で学習。

対象 中学生以上の市内在住・在勤・在学者
 ※子ども連れでの受講不可。
 定員 20人(申込順)
 持物 筆記用具
 申込 9月2日(月)9:00以降に市LINE公式アカウントから申し込み、電話または直接担当へ
 ※駐車場はありません。



担当 消防管理課 ☎046(256)2211 FAX 046(256)2215

自治会は、人と人との強い絆で結ばれ、安心で安全な街づくりに貢献しています。

担当 市民協働課 ☎046(252)7966 FAX 046(255)3550

